

1.WTO 加盟の中国農業への影響

〔要約〕中国は WTO 加盟によって、小麦、トウモロコシ、大豆等の輸入が増大することが予想されるが、米の輸入は増えない可能性が高い。WTO 加盟後は、安価な農産物の輸入が増えることに加え、価格支持政策の実施が制限されるので、穀物の国内価格は上がりにくくなる。

国際農林水産業研究センター・海外情報部				連絡先	0298(38)6344	
部会名	国際農業	専門	経済政策	対象	分類	行政

〔背景・ねらい〕

1999 年 11 月中合意が成立したことにより、中国の WTO 加盟は現実味を増した。今後の中国の農業生産や農業政策の展望について検討する際には、WTO 加盟の影響について分析することが不可欠である。このため、中国が WTO 農業協定を遵守するとともに、関税割当制の導入や関税率の引き下げについて米中合意の内容が適用されると仮定した場合に、WTO 加盟が中国農業に与える影響を検討する。

〔成果の内容・特徴〕

1. 将来的な相対価格関係が現在と変化がなく、関税割当制の運用が公正になされる場合、小麦とトウモロコシの輸入は関税割当枠一杯になされる可能性がきわめて強い。ただし、現在程度の内外価格差の水準が維持されれば、2 次関税率が高いことから関税割当枠を超えた輸入が起こる可能性は小さい。(表 1)
2. 米については膨大な関税割当枠が準備されているが、輸送コストを考慮すれば、ジャポニカ米、インディカ米とも国産品が価格上の優位性を有する。したがって、大量の輸入が行われるとは考えにくく、関税割当枠はほとんど未消化に終わる可能性が高い。(表 2)
3. 大豆油については、国内価格が国際価格の 2 倍以上であること、2005 年の関税割当枠が現在の総消費量をも上まわっていることから、国内搾油産業の衰退と食用を除く大豆生産の衰退、ということになる可能性が高い。(表 2)
4. 1999 年の小麦、トウモロコシ、大豆の国内助成合計量 (AMS) は約 10% 程度と推計される。このことは、仮に中国が「非途上国」として WTO に加盟するとすれば、現在の穀物の政策価格を引き下げなければならないことを、また、仮に「途上国」資格での加盟が認められるとしても、これ以上政策価格を引き上げることが許されないことを、意味している。

〔成果の活用面・留意点〕

中国の WTO 加盟交渉は、2001 年 1 月時点でなお難航しており、農業に関する加盟条件も最終的に確定していない。国内農業に与える影響についても、中国の加盟が正式に決まった時点で、再度検討を行う必要があるが、分析結果の基本的方向については変わらないと思われる。

〔具体的データ〕

表 1 中国の WTO 加盟に関する米中合意内容 (関税割当品目)

(単位: 万トン、%)

	関税割当数量		1 次関税率	2 次関税率	
	初年度	2004 年		初年度	2004 年
穀物 (平均)			1% 調製品 10%	76%	65%
精米 (中短粒種)	133	266			
精米 (長粒種)	133	266			
小麦	730	963.6			
トウモロコシ	450	720			
大豆油	171.8	326.1 (2005 年)	9%	74%	20% (2005 年)

出所: FAS, USDA, U.S.-China WTO Accession Agreement (FAS Online), February 2000.

USTR, Market Access Commitments of the Government of China on Goods, Services and Agriculture (Press Release), April 1999.

注 1) いずれも現在は輸入割当制を実施。2) 大豆油は 2006 年より関税化。

表 2 穀物・大豆・大豆油の内外価格差 (1999 年 12 月)

(単位: 元/トン、%)

品目	地区	国内価格 (人民元)	国際価格 (人民元)	価格差
米 (ジャポニカ米)	東北	2002 ~ 2050	3801	-47 ~ -46%
			2470	-19 ~ -17%
米 (インディカ米)	揚子江中下流域	1580 ~ 2120	1868	-15 ~ +13%
小麦 (白小麦)	華北	1196 ~ 1420	764	+57 ~ +86%
トウモロコシ (黄)	東北 華北	921 ~ 1000 1036 ~ 1200	656	+40 ~ +52%
				+58 ~ +83%
大豆	東北 華北	1807 2000 ~ 2200	1436	+26%
				+39 ~ +53%
大豆油	華北	6980 ~ 7200	2930	+138 ~ 146%

注 1) 中国国内価格は各地の卸売市場価格。2) ジャポニカ米の国際価格は、カリフォルニア米 (中粒種) の精米工場渡し価格。上段は USNo.1、下段は USNo.4。3) インディカ米の国際価格は、タイ国貿易取引委員会発表の碎米混入率 10% の精米価格。4) その他の国際価格はシカゴ相場 (期近)。5) 換算レートは 1 米ドル = 8.3 ドル。6) 米国から中国への輸送コストは概ね 20 米ドル/トン程度。

〔その他〕

研究課題名: 中国の主要地域における新技術普及の農家経営、地域経済への影響評価

予算区分: 国際研究 [中国食料資源]

研究期間: 平成 12 年度 (9 ~ 15 年度)

研究担当者: 池上彰英、中本和夫 (農研センター)

発表論文等: 池上彰英 (2000): 中国の WTO 加盟と農業政策の課題、国際農林業協力、23(1):2-11

池上彰英 (2000): アジア諸国の WTO 対応—中国—、農林統計調査、50(8):33-40